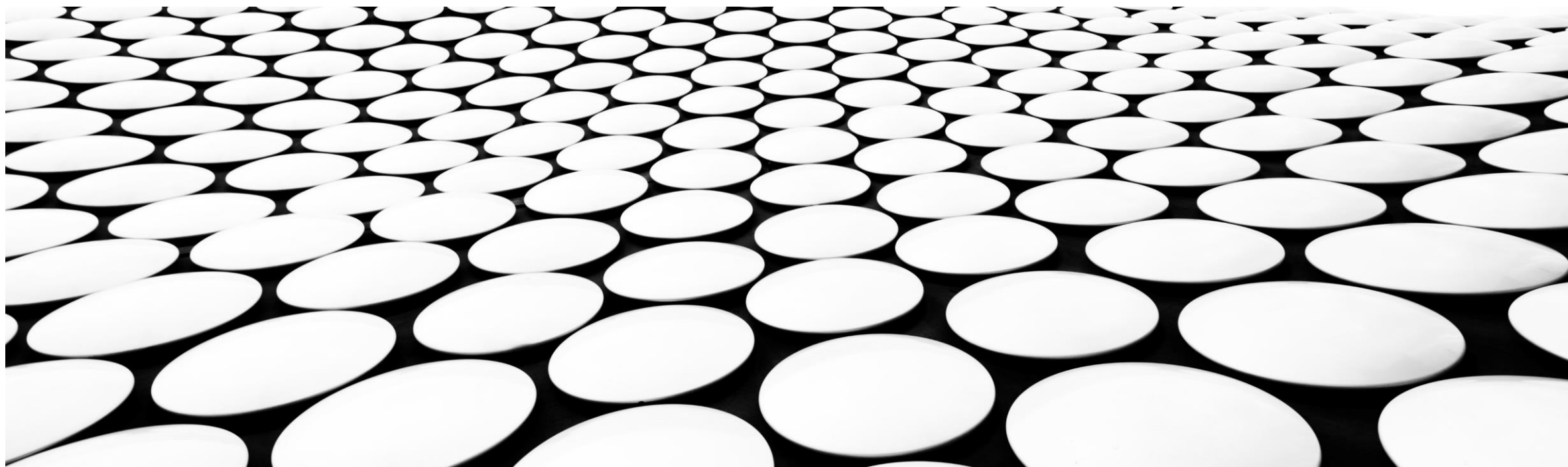


子どもによる地域活動の実施・発展を目指した事業

Onojoこどもコミュニティ

2025/6/7



ONOJOこどもコミュニティについて

団体概要/事業概要

団体概要

団体名	Onojoこどもコミュニティ
設立年月	2023年10月
代表者名	古野 歌代子
会員数	35名 (2025年3月末時点) うち、子ども会員29名
目的	子どもが主体となり活動・展開できる地域活動を整備することで、地域の未来を担う子どもの育成及び地域活動の活性化を目指す

事業概要

①大人や幅広い年代の友人と定期的に交流する 機会の提供【週に1回】

- スポーツ活動
 - サッカー
 - バスケットボール
 - ドッチボール 等
- 文化活動
 - 英会話教室
 - 音楽鑑賞 等

②子どもたち主体で行事の企画・運営【年5-6回】

- 地域貢献のためのボランティア活動
- 職業体験
- キャンプ
- 運動会 等

事業背景

なぜ子どもによる地域活動が必要か？

子供たちの理想的な学びの環境

- 学校や家庭での学びで得られた知識・意欲を、地域社会にて実際に実践・行動
- 大人や幅広い年齢の友人と交流し、**生活体験、社会体験、自然体験を豊富に積み重ねることが重要**

知識・意欲を
習得する場

学校

家庭



実践・行動
する場

地域社会

生活体験

社会体験

自然体験

近年、以下理由により地域社会に参加する子どもの数が減少

- 保護者の負担が大きい
- 子ども達にとって魅力的な活動がない

⋮

子どもたちが**自ら考え、実践し、**
継続的に地域活動を実施する体制を
構築する必要

子どもによる地域活動 の実施・発展を目指し た事業

以下モデルの構築を目指す

- ① **大人や幅広い年代の友人と定期的に交流・協議する場の提供【週に1回】**
 - － 集団で実施できるスポーツ活動(サッカー、バスケットボール等)、文化活動(英会話教室、音楽鑑賞等)
- ② **子どもたち主体で行事の企画・運営【年5-6回】**
 - － 地域貢献のためのボランティア活動、農作業体験、キャンプ等
- ③ **活動財源を確保するための工夫**
 - － 会員増加に向けた取組(SNSを用いた広報活動)、バザー活動等

初年度は主に活動の基盤整備に注力

R6年度の取組内容と効果

取組内容

管理面

定期的に活動を開催できる体制を構築

- 週1回の活動が可能な人材の確保
- 情報発信ツールの整備
 - 公式LINEの立ち上げ
 - Instagramによる広報
 - チラシの配布 等



事業面

随時子ども達と協議しながらイベントを開催

- スポーツ活動(週1回)
- キャンプ
- クリスマス会 等

効果

会員数が約3倍に増加

- 12名(2024/6時点)から
35名(2025/3)へ増加

他団体への認知も徐々に
拡大

- 大野城を中心に活動する
他団体(まどかのふもと等)
との情報交換

R6年度の活動内容

運動会



キャンプ



スポーツ活動



屋台体験会



その他、職業体験、クリスマス会 etc.



R7年度の活動予定

活動月	主な活動（予定）
6月	
7月	職場体験
8月	キャンプ
9月	大文字まつり出店
10月	ボランティア活動（地域の清掃活動参加）
11月	まどかフェスティバル出店
12月	クリスマス会開催
1月	ボランティア活動（地域の清掃活動参加）
2月	講演会/ワークショップ
3月	反省会

LINE公式アカウントにて
随時情報発信致します

